



平成28年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年3月31日

上場会社名 日本メディカルネットコミュニケーションズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3645 URL <http://www.japan-medico.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平川 大  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部ゼネラルマネージャー (氏名) 三宅 大祐 (TEL) 03(5790)5261  
 四半期報告書提出予定日 平成28年4月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第3四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成28年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第3四半期	1,111	23.5	148	83.9	149	83.9	84	117.1
27年5月期第3四半期	899	△3.5	80	△6.6	81	△7.1	38	△12.8

(注) 包括利益 28年5月期第3四半期 89百万円(115.3%) 27年5月期第3四半期 41百万円(△0.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第3四半期	15.71	15.56
27年5月期第3四半期	7.24	7.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年5月期第3四半期	1,872	1,336	70.1
27年5月期	1,753	1,251	70.4

(参考) 自己資本 28年5月期第3四半期 1,312百万円 27年5月期 1,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	0.00	—	1.00	1.00
28年5月期	—	0.00	—		
28年5月期(予想)				1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,310	4.1	50	△50.4	49	△51.2	13	△70.3
								2.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社、除外 — 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年5月期3Q	5,386,500株	27年5月期	5,386,500株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

28年5月期3Q	34株	27年5月期	34株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年5月期3Q	5,386,466株	27年5月期3Q	5,386,466株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による積極的な金融緩和策の推進により、景気は緩やかな回復基調にありました。しかし一方では、円安の傾向が続いたことによる輸入原材料の価格上昇や消費税率引上げによる個人消費の冷え込みに加え、新興国経済の成長鈍化など、消極的な消費マインドと海外景気の影響が国内景気を下押しするリスクとなっております。

広告業界におきましては、平成27年の広告市場の総広告費及び当社グループが関連するインターネット広告市場における広告費は、共に増加傾向にありました。広告市場の総広告費は、6兆1,710億円（前年比0.3%増）、インターネット広告市場における広告費は、1兆1,594億円（前年比10.2%増）となりました（株式会社電通「2015年日本の広告費」）。

また、スマートフォンやタブレット端末の普及は、引き続き拡大傾向にあり、平成26年末のインターネット利用者数は、1億18万人（前年比0.3%減）、人口普及率は、前年と同じ82.8%であり前年に引き続き利用者数が1億人を超えております。人口普及率に占めるスマートフォン及びタブレット端末の割合は、61.9%（前年比7.1ポイント増）となっております（総務省「平成26年通信利用動向調査」）。

一方、当社グループの事業領域である歯科市場においては、歯科診療医療費が2兆7,951億円（前年比2.9%増 厚生労働省「平成26年度 医療費の動向」）、歯科診療所は68,730施設（厚生労働省「医療施設動態調査（平成28年1月末概数）」）となり、インプラントやホワイトニング等の自費診療の普及や口腔衛生意識の高まりもあったものの、歯科診療医療費の伸び悩みや歯科医院の過当競争により厳しい状況が続いております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、基幹事業であるポータルサイト運営事業の効率化を推し進めると共に顧客満足度の向上を図るためスマートフォン広告の拡充、新たなサービス構築に取り組みました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,111,268千円（前年同四半期比23.5%増）、営業利益は148,695千円（前年同四半期比83.9%増）、経常利益は149,155千円（前年同四半期比83.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は84,630千円（前年同四半期比117.1%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

#### ① ポータルサイト運営事業

当社グループの基幹事業であるポータルサイト運営事業においては、インターネット広告市場における広告費は1兆1,594億円（前年比10.2%増）と拡大基調にあるものの（株式会社電通「2015年日本の広告費」）、歯科分野では、歯科診療医療費の伸び悩みや歯科医院の過当競争により厳しい状況が続きました。

また、美容・エステ分野では、参入企業の多くは既存店舗のリニューアル、スクラップアンドビルドによる売上改善、差別化のための付加価値サービスの提供等、企業努力を講じてはいるものの、消費税増税の影響を受けたことにより平成26年のエステティックサロン総市場規模は3,611億円（前年比1.6%増）と微増推移となりました（株式会社矢野経済研究所「エステティックサロンマーケティング総鑑 2015年版」）。

こうしたなか、当第3四半期連結累計期間においては、前連結会計年度にリリースいたしました女性たちの「キレイになりたい!」をサポートする美容サイト「美LAB.」や日常生活に役立つヘルスケア情報サイト「4 health care」等の新たなポータルサイトの収益化を目指しました。また、当社グループが運営する各ポータルサイトの認知度の向上を図ると共に引き続きスマートフォン広告の拡充を進め、新たなサービスの提供を実現するための体制を整備してまいりました。その結果、主力サイトの「矯正歯科ネット」や「審美歯科ネット」の売上高は前年同四半期比で増加いたしました。その他のポータルサイトへの広告出稿につきましては厳しい状況が続いております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は486,899千円（前年同四半期比4.7%増）、セグメント利益は315,718千円（前年同四半期比13.0%増）となりました。

② SEM事業

SEM事業においては、運用型広告市場規模は、運用型広告費に含まれる検索連動広告費がスマートフォンやタブレットなどの普及拡大の恩恵を大きく受けたことにより、6,226億円（前年比21.9%増）となりました（株式会社電通「2015年日本の広告費」）。

こうしたなか、弊社におきましてはスマートフォンやタブレットなどの普及拡大の影響を受け、リスティング広告運用代行サービスのクライアント数が増加し、それに伴い売上高も増加いたしました。また、SEOサービスにおいては、複数キーワードへの対策結果を短期的に求めることが難しい仕組みへと変化したことにより、比較的效果の現れやすい検索連動広告をそれに代わる手法として求めるクライアントが増えておりますが、Googleなどの検索エンジンで利用されているアルゴリズム（検索キーワードに対して最適なページを判定するための処理手順）への対応の効果が出始め、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は266,680千円（前年同四半期比42.3%増）、セグメント利益は28,819千円（前年同四半期は、セグメント損失1,599千円）となりました。

③ 保証事業

保証事業においては、連結子会社の株式会社ガイドメントにおいて、歯科自由診療を行う歯科医院のうち、当社グループが定める基準を満たした歯科医院（認定会員）に対して、治療前に登録した治療に関して治療後に再治療が発生した際の費用を保証するサービスを提供しております。当第3四半期連結累計期間においては、引き続き積極的に保証サービスの周知活動を行ってまいりました。

また、営業活動の強化と保証内容の多様化によって認定会員の選択肢を増やしたことにより認定会員につきましても順調に増加しております。それに伴い保証件数についても増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は50,493千円（前年同四半期比23.6%増）、セグメント損失は34,433千円（前年同四半期は、セグメント損失29,463千円）となりました。

④ 医療BtoB事業

医療BtoB事業においては、連結子会社のブランネットワークス株式会社において、歯科医療従事者と歯科関連企業等をつなぐポータルサイトの運営を中心にリサーチ、コンベンションの運営受託、広告ソリューションの提供及びMR（製薬会社の医薬情報担当者）向けの高級弁当販売のプラットフォームを弁当製造販売業者へ提供する等、様々なサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、引き続き組織体制の強化や歯科関連企業への積極的なプロモーション活動に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は119,973千円（前年同四半期比37.8%増）、セグメント利益は10,211千円（前年同四半期比671.8%増）となりました。

⑤ メディアプラットフォーム事業

メディアプラットフォーム事業においては、平成27年1月15日にリリースした“妊娠時～6歳児までのお子さんをお持ちのママ”をターゲットとしたママ向け子育て情報サイト「まんまみーあ」を運営しております。「まんまみーあ」は平成28年2月29日現在、訪問者数は1,041万5千人と、ターゲット層の獲得媒体として成長しております。

しかしながら、当ターゲット層に対するアプリ等のサービス開発に伴う投資等が先行しており、新サービスの投入による本格的な収益化は来期以降の予定であります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,075千円（前年同四半期はありません）、セグメント損失は29,607千円（前年同四半期はセグメント損失17,559千円）となりました。

⑥ 販売代理事業

販売代理事業においては、当社独自のサービスと関連性のある他社Web商材・リアル商材の営業活動を積極的に行ったことにより販売が好調に推移し、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は114,921千円（前年同四半期比118.6%増）、セグメント利益は6,018千円（前年同四半期はセグメント損失1,035千円）となりました。

⑦ その他

その他の事業においては、事業者向けホームページ制作・メンテナンスを展開しております。当第3四半期連結累計期間においては、スマートフォンやタブレットなどの普及の影響を受け、ワンストップソリューションサービスの一環である事業者向けホームページ制作・メンテナンス事業の販売は堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は70,356千円（前年同四半期比0.2%増）、セグメント損失は185千円（前年同四半期は、セグメント損失1,869千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、1,872,328千円となり、前連結会計年度末に比べ119,199千円（前連結会計年度末比6.8%増）の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりであります。

① 資産の部

(流動資産)

流動資産は、現金及び預金が増加したことにより1,667,475千円となり、前連結会計年度末に比べ115,395千円（前連結会計年度末比7.4%増）の増加となりました。

(固定資産)

固定資産は、ソフトウェアの減価償却及びのれんの償却により無形固定資産が減少しましたが、投資有価証券の取得により投資その他の資産が増加したため204,852千円となり、前連結会計年度末に比べ3,803千円（前連結会計年度末比1.9%増）の増加となりました。

② 負債の部

(流動負債)

流動負債は、未払金及び未払費用は減少しましたが、未払法人税等及び前受金が増加したことにより530,987千円となり、前連結会計年度末に比べ35,652千円（前連結会計年度末比7.2%増）の増加となりました。

(固定負債)

固定負債は、保証期間の経過に伴うインプラント保証の支出に備える引当金の減少により、5,115千円となり、前連結会計年度末に比べ721千円（前連結会計年度末比12.4%減）の減少となりました。

③ 純資産の部

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより1,336,224千円となり、前連結会計年度末に比べ84,267千円（前連結会計年度末比6.7%増）の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月期の通期の連結業績予想につきましては、当初計画では上期に見込んでおりました経費の一部の実施が未確定であるため、現時点では平成27年7月10日公表の連結業績予想から変更はありません。業績予想の修正が必要になった場合には速やかに開示する予定です。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,048,919	1,159,222
売掛金	275,136	274,551
前払費用	153,228	149,472
その他	87,219	95,632
貸倒引当金	△12,424	△11,403
流動資産合計	1,552,079	1,667,475
固定資産		
有形固定資産	15,652	16,453
無形固定資産		
のれん	120,585	115,234
その他	16,309	13,814
無形固定資産合計	136,894	129,049
投資その他の資産		
その他	66,549	80,775
貸倒引当金	△18,047	△21,425
投資その他の資産合計	48,501	59,349
固定資産合計	201,048	204,852
資産合計	1,753,128	1,872,328
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	22,579	26,809
未払法人税等	22,965	40,344
前受金	290,525	346,058
賞与引当金	—	11,404
ポイント引当金	—	320
その他	159,264	106,050
流動負債合計	495,334	530,987
固定負債		
インプラント保証引当金	5,837	5,115
固定負債合計	5,837	5,115
負債合計	501,172	536,103
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	286,034	286,034
資本剰余金	261,034	261,034
利益剰余金	685,325	764,569
自己株式	△34	△34
株主資本合計	1,232,360	1,311,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,580	919
その他の包括利益累計額合計	1,580	919
非支配株主持分	18,015	23,700
純資産合計	1,251,956	1,336,224
負債純資産合計	1,753,128	1,872,328

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
売上高	899,860	1,111,268
売上原価	449,639	600,105
売上総利益	450,221	511,162
販売費及び一般管理費	369,359	362,467
営業利益	80,861	148,695
営業外収益		
受取利息	261	270
未払配当金除斥益	-	243
その他	120	32
営業外収益合計	381	546
営業外費用		
固定資産除却損	118	41
その他	-	45
営業外費用合計	118	87
経常利益	81,125	149,155
税金等調整前四半期純利益	81,125	149,155
法人税、住民税及び事業税	41,322	63,498
法人税等調整額	△868	△4,658
法人税等合計	40,453	58,840
四半期純利益	40,671	90,314
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,681	5,684
親会社株主に帰属する四半期純利益	38,989	84,630

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
四半期純利益	40,671	90,314
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	970	△660
その他の包括利益合計	970	△660
四半期包括利益	41,641	89,654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,959	83,969
非支配株主に係る四半期包括利益	1,681	5,684

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	ポータルサイト 運営事業	SEM事業	保証事業	医療BtoB事業	メディア プラットフォーム 事業	販売代理事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	463,829	187,451	40,868	86,984	—	52,110	831,243	68,616	899,860
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,343	—	—	74	—	453	1,871	1,572	3,443
計	465,172	187,451	40,868	87,059	—	52,563	833,114	70,189	903,304
セグメント利益 又は損失(△)	279,341	△1,599	△29,463	1,322	△17,559	△1,035	231,005	△1,869	229,136

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業者向けホームページ制作・メンテナンス事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	231,005
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△1,869
全社費用(注1)	△166,603
その他の調整額(注2)	18,328
四半期連結損益計算書の営業利益	80,861

(注)1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の調整額は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益との消去によるものです。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	ポータルサイト 運営事業	SEM事業	保証事業	医療BtoB事業	メディア プラットフォーム 事業	販売代理事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	485,563	266,680	50,493	119,970	4,075	114,648	1,041,431	69,836	1,111,268
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,336	—	—	3	—	272	1,612	520	2,132
計	486,899	266,680	50,493	119,973	4,075	114,921	1,043,044	70,356	1,113,400
セグメント利益 又は損失(△)	315,718	28,819	△34,433	10,211	△29,607	6,018	296,726	△185	296,540

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業者向けホームページ制作・メンテナンス事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	296,726
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△185
全社費用(注1)	△172,353
その他の調整額(注2)	24,508
四半期連結損益計算書の営業利益	148,695

(注)1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の調整額は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益との消去によるものです。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「メディアプラットフォーム事業」及び「販売代理事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。